数利.	教科		科目	エンジン系応用構造				対象級	専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01
教件	自動	<b>声工学</b>	17 [		(学科)			对参加	2年	開講期	前期
教科担当	別表参	照									
実務経験教員授業 非該当		総時限	21時限	授業方法	講	髲	評価方法	学科試験 単元·期末試験		取組加減	
- 1 - 111 - 1 - 1											

### 〔授業概要・目的〕

ガソリンエンジンの構造、機能、整備について学習することで、二級ガソリン自動車整備士国家試験(登録試験)の

エンジン及び電装部門において合格できるレベルの知識習得を目的とする。

### 〔授業の到達目標〕

STEP1:二級ガソリン自動車教科書のエンジン及び電装領域を中心に、各章のエンジン及び電装の構造、機能、整備の知識を習得する。

STEP2:二級ガソリン自動車教科書のエンジン及び電装領域を中心に、登録試験部門別過去問題を活用し各章の理解度向上を図る。

### [学習評価の基準]

各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

#### [使用教科書・教材等]

二級ガソリン自動車エンジン及び電装編、登録試験部門別過去問題、復習プリント

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	1	ガソリンエンジンの総論(性能、燃焼)	
	3	エンジン本体の構造・機能	
	1	潤滑装置、冷却装置、燃料装置の構造・機能	
	1	吸排気装置装置と燃料及び潤滑剤の構造・機能	
	3	電気装置 始動装置、充電装置、点火装置の点検方法	
	1	電子制御装置の構造・機能	
	1	単元学科確認	
2	7	ガソリンエンジン登録試験部門過去問題	
	1	ガソリン総合復習問題	
	2	電子制御装置の各種補正	

教科		学科	科目	3/4	・シ系応用	<b>*</b>		対象級	専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01
秋行	自動	加車整備	717 [7]	<b>&gt;</b> 1	✓ XY/LV/TI1	丹坦		<b>八] 秋/</b> //	2年	開講期	前期
教科担当	別表	参照								-	
実務経験教	員授業	非該当	総時限	21時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 単元·期末試験		

### 〔授業概要・目的〕

シャシ系の構造、機能、整備について学習することで、二級ガソリン、ジーゼル自動車整備士国家試験(登録試験)のシャシ部門において合格できるレベルの知識習得を目的とする。

### 〔授業の到達目標〕

シャシ性能総論、AT、油圧PS、アライメント要素、クラッチ、トルクコンバータ、サスペンション性能、

ABS, TCS等の機能構造作動等について理解習得する

### [学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの 6 各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点 60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

### 〔使用教科書・教材等〕

二級自動車シャシ、三級自動車シャシ、

		授業計画表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
		第2章 動力伝達装置	
1	1	マニュアルの伝達効率、機能、構造を学ぶ	
	1	トルクコンバータについて学ぶ	
	1	ATに関する各部センサーの目的、役割と安全装置について学ぶ	
	1	旋回性能、油圧式パワーステアリングの種類、構造、機能を学ぶ。	
	2	キャンバー、キャスター、キングピン傾角について役割を学ぶ	
	1	バッテリの機能、整備知識を学ぶ	
	1	計器(メータ、インジケータ)、警報装置の回路構造機能を学ぶ	
	1	外部診断機、CAN通信の機能を学ぶ	
	1	SRSエアバッグ、シートベルトの機能構造を学ぶ	
	1	単元確認	
2	1	制動倍力装置一体型、分離型の構成部品、構造、作動を学ぶ	
	1	乗用車、トラックの種類とボデー安全構造の特徴を学ぶ。	
	1	ボデーの振動、揺動、サスペンションの特性を学ぶ。	
	1	旋回性能を学ぶ。アンダー、オーバー、ニュトラルステア	
	2	ABS、TCSの油圧制御サイクルを学ぶ	
	2	第1章から第7章までの学科総合復習の実施	
	1	エアコンの分類、機能構造を学ぶオートエアコンの風量制御、温度制御を学ぶ	
	1	EPSの種類、構造機能を学ぶEPSの整備法を学ぶ	

教科		学科	科目	ジ	ーゼル自動	車		対象級	専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01
教件	自動	力車工学	17 p		(学科)			对参加	2年	開講期	<u>後期</u>
教科担当	別紙参	照									
実務経験教員	<b>●授業</b>	非該当	総時限	15時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 単元·期末試験		
(松米祖里					-				-		

### 〔授業概要・目的〕

ジーゼルエンジンの構造、機能、整備について学習することで、二級ジーゼル自動車整備士国家試験(登録試験)の

エンジン部門において合格できるレベルの知識習得を目的とする。

### [授業の到達目標]

STEP1: 二級ジーゼル自動車エンジン編教科書を中心に、各章のエンジン構造、機能、整備の知識を習得する

STEP2:二級ジーゼル自動車エンジン編教科書及び、登録試験部門別過去問題を活用し各章の理解度向上を図る

### [学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

### 〔使用教科書・教材等〕

二級ジーゼル自動車エンジン編、登録試験部門別過去問題、復習プリント

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	1	ジーゼルエンジンの総論(性能、燃焼)	
	1	エンジン本体の構造・機能	
	1	潤滑装置と冷却装置の構造・機能	
	2	燃料装置の構造・機能	
	1	吸排気装置と電気装置の構造・機能	
	1	燃料の性質、潤滑剤(エンジンオイルの添加剤)	
	1	ジーゼル総合復習	
	1	単元学科確認	
2	5	ジーゼルエンジン登録試験部門過去問題	
	1	ジーゼルエンジン総合復習	

数利.			科目	\ <u>\</u>	合自動車エ	- 学		対象級	専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01
秋杆	自動	車工学	11 D	水区	口口割牛工	<u>-</u> +		对参加	2年	開講期	<u>後期</u>
教科担当	別紙参	照									
実務経験教員	授業	非該当	総時限	16時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験		
〔授業概要•目的〕											

- ・国家2級ジーゼル・ガソリン資格の学力を習得する。
- ・総合自動車工学の基礎的な学力習得する。
- ・ホンダ4輪SE3級レベルの知識を習得する。

### [授業の到達目標]

STEP1・2:エンジン・電装・シャシ・検査の各領域に関連のある工学の知識を習得する

登録試験過去問題を活用し工学部門の理解度向上を図る

ホンダ4輪SE3級テキストを活用し理解度向上を図る

### 実施要領

- ・各単元で公論社問題集(ジーゼル)の担当分野を振り分け、解答解説を行い学力向上を図る。
- ・ホンダ4輪SE3級対策プリントを作成、クラス別に実施し、解答解説を行う。
- ・JAMCA統一問題に向け、前年度の登録試験、検定試験問題を練習問題として、実施。解答解説を行う。
- ・ジーゼルのストレート問題を実施し、実力と弱点の確認を行う。

### [学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの 各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

### [使用教科書・教材等]

ニ級自動車ガソリン、二級自動車シャシ、計算のノウハウ、SE三級ソフト、ハード編

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	8	公論社2級ジーゼル練習問題集を各単元に振り分け実施と解説	
	2	実力確認	
	2	JAMCA統一模擬問題実施	
	4	ホンダ4輪SE3級練習問題実施	

教科		学科	' ' *\! H		自動車総論				専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01
<del>3</del> 2/17	自動	車工学	11 11			H)		対象級	2年	開講期	<u>前期</u>
教科担当	別表	参照						-			
実務経験教員	授業	非該当	総時限	15時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 期末試験		

### 〔授業概要・目的〕

- ・2級整備士国家試験に結びつく自動車工学の基礎知識の習得。
- ・自動車の工学部門の基礎的な計算力を習得。
- ・自動車の工学部門の文書解説の基礎事項を理解する。

### [実施要領]

- ・ST1にて4単元で単元の関係の強い項目を3時限or4時限を受け持って展開をする。
- ·ST2で、総合復習問題と解答解説の実施。

### [学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

### [使用教科書・教材等]

二級自動車ガソリン、二級自動車シャシ、計算のノウハウ

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	3	エンジン系総論・性能・燃焼・エンジン系総論問題・燃料、材料	
	3	電装系計算問題全般	
	2	シャシ系総論・性能 ・走行性能曲線・ 車に働く抵抗 ・ギヤ計算	
	2	シャシ系工学計算・トルク、軸重計算・圧力計算	
2	1	シャシ系工学計算	
	1	エンジン系工学計算	
	1	総合練習問題	
	2	シャシ系工学計算	

教科		学科	科目	±/	(障原因探			専門課程 対象級 自動車整備科		25/04/01
教件	自重	加車整備	17 0	Đ	(学) (公) (不)	1	<b>利</b> 家版	2年	開講期	後期
教科担当	別紙参	>照								
実務経験教	員授業	非該当	総時限	15時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元·期末試験		取組加減
「授業概要•目的〕					•		•			

### 「授業概要・目的」

機械系の故障診断における診断方法と対応手法を理解習得する。一級資格につながる電子制御系統の診断手法 の基本を理解習得する。整備に関する制度などの基本的な事項を理解する。

### [授業の到達目標]

- 1) 自動車の故障と探求教科書を中心に、各章の電気装置、電子制御装置の故障探求についての知識を習得する。
- 2) 低圧電気取り扱い特別教育テキストを中心に、HV車の構造、機能、整備、電気安全知識について習得する。

### [学習評価の基準]

各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

No. 1

### [使用教科書・教材等]

自動車の故障と探求、低圧電気取り扱いテキスト、2級シャシ、2級ガソリン、ホンダSE3級テキスト(ハード偏)等

授業計画表

		X X H I X	1 110. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	•
1	1	低圧電気取り扱い講習①	
	1	低圧電気取り扱い講習②	
	1	低圧電気取り扱い講習③	
	1	充電装置の故障探求	
	1	点火装置の故障探求	
	1	始動装置の故障探求	
	1	PGM-FIの故障探求①	
	1	エアコンの故障探求	
	1	単元確認	
	1	PGM-FIの故障探求②	
	1	SRSエアバッグ	
	1	HDS 通信システム	
	1	エアコンデショナー	
	2	総合復習	

教科		学科	科目	総合自動車整備シャシ				対象級	専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01
教行	自動	動車整備	717 [7]	心口日勤中正備ノイン			八多州火	2年	開講期	<u>後期</u>	
教科担当	別表参照										
実務経験教員授業		非該当	総時限	15時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 単元·期末試験		
ान्य भाग भाग सन								-			

#### 〔授業概要・目的〕

シャシ系の構造、機能、整備について学習することで、二級ガソリン、ジーゼル自動車整備士国家試験(登録試験)のシャシ部門及び、SE3級において合格できるレベルの知識習得を目的とする。

### [授業の到達目標]

受付から故障探究、引き渡しめでを理解習得する。

マニュアル・トランスミッション、ステアリング、ブレーキ、オートマチック関連の故障探究について理解習得する。

CVT、DCT(トランスミッション)の動力伝達~全般を理解する。

### [学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの 各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

### [使用教科書・教材等]

二級自動車シャシ、三級自動車シャシ、点検の手引き、SE三級ハード編

		授 業 計 迪 表	No. 1										
STEP	標準時限	授業内容(項目)											
1	1	受付から引き渡しまでの一連の流れを学ぶ											
	1	マニュアル・トランスミッションの故障探究											
	2	ステアリング装置の故障探究											
	1 制動倍力装置の故障探究												
	2 オートマチック・トランスミッションの故障探究												
	1	学科復習											
	1	単元確認											
2	2	電子制御5AT、CVT,DCTの構造、機能、作動を学ぶ。											
	1	油圧パワーステアリング、ABSの構造、機能、作動を学ぶ。											
	1	サスペンションの故障探究											
	2	シャシ学科復習											

教	科		学科 力車検査	科目	総合自	動車整備	検3	<u></u>	対象級	専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01
土地工川	<b>+</b> □ ///									2年	開講期	後期
教科	担ヨ 圣験教員	別紙参	非該当	総時限	15時限	授業方法	講	 義	評価方法	学科試験 単元·期末試験	1.48.1歌压	形织加油
		目的〕		一部 中原						の理解度を深める。	レかート評価	月又於且/川/內又
											<b>介 1</b> 田 梅夏	
				いったエア 一 ついて理角						可のタイヤ, ホイール	<b>グ理件。</b>	
		全目標			件 ソ る。	4 W D/成/	円()		上生件する	do		
				の復習。ナ	で型車輌の	)エア・スフ	プリンク	······· *.	連装置を	理解する。大型ABS	Sの理解。	
	大型コンプレッサ・関連装置の復習。大型車輌のエア・スプリング,関連装置を理解する。大型ABSの理解。 乗用車電子制御式サスペンションを理解する。大型バス・トラックの電子制御式エアサスペンションを理解する。											
				及い, JIS・I								
										DPS・AWDの概要	<ul><li>作動の理</li></ul>	 解。
				車両法•保								.,.
 〔学習	評価の	の基準	]									
各討	各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点											
60点	60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。											
	WE TO THE TWO COLONIAL THE TWO COLONIAL TO THE TWO COLONIAL THE TWO C											
〔使用	教科	書・教材	才等〕 :	2級、3級シ	/ヤシ 治	<b></b> 上令教材	点検	の月	手引き ス	ホンダSE3級テキスト		
					授	業計画	画 表					No. 1
STEP	標準時限					打	受業内	容(	項目)			
1	1	電子制	削御式サス	くペンション	/・エアサン	スペンション	/(大型	型)	機能•構造	告·役割		
	1	大型コ	コンプレット	サ 機能・株	構造•役割							
	2	エアフ	ブレーキ(ナ	大型) 機能	₺•構造•徭	<b>设割</b>						
	2	補助に	ブレーキ(	大型) 機能	能•構造•徇	<b>殳割</b>						
	2	保安基	基準(大型	のみの部分	分)巻込	み防止装置	置•突	入防	止装置•	卡常口•側方灯/側	方反射器	等
	1	単元研	在認									
	2	4WD	(AWD) •	DPS 4W	Dシステム	△の機能・村	構造•≉	役割	HONDA	のシステムの理解		
	1	タイヤ	・ホイール	のまとめ(	小型•大型	型) 機能•	構造					
				朝検査単え								
	2	検査	まとめ 1年	間を通して	ての復習(	公論者	プリント	ベー	-ス)			
		1										

				1/2 **				· · / · /			
教	科	学科	科目		自動車検査	<u> </u>		対象級	専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01
1/2	11	自動車検査	7111			<b></b>		7,130/12	2年	開講期	前期
教科	担当	別紙参照		1				ı			
実務組	圣験教員	員授業 非該当	総時限	13時限	授業方法	講	妄	評価方法	学科試験 単元·期末試験		取組加減
〔授業	概要•	目的〕車両法	を理解し、	車検証や、	別表の内	容を理算	解~	するタン	イヤ・ホイールに関す	る理解を消	深める ニー
軸重語	計算を	理解する 自動	動車が及ほ	ず環境へ	の問題、こ	これから	カ	自動車の現	環境への取組みにつ	いて理解	する
〔授業	の到達	<b>達</b> 目標〕									
車両沿	去を理	解する 軸重語	計算を理解	はする 潤	滑剤、自動	動車材料	半に	こついて理	2解する		
車検(	継続	倹査)の種類と記	己入方法、	手続き方法	宗を理解	する。車	山	方安全装置	世の理解		
車検討	正と別	表の見方を理解	できる 1	記録簿の月	内容の理解	解と記入		大型エア	ア装置と圧縮空気の	流れを理角	解する
自動耳	車検査	機器の必要性別	及び取り扱	い方法、法	は的な内容	を含め	里角	解する			
保安基	表準を	理解し、法令に	関係する第	ぞ全装置を	理解する						
差動制	訓限型	ディファレンシャ	ル装置の	構造•機能	€・役割に~	ついて理	解	する。			
タイヤ	の動・	静荷重半径•発	熱•走行音	∱•摩耗•扁	平比を理	解する		自動車の	環境,公害,リサイク	クル等の理	!解。
〔学習	評価の	の基準〕									
各記	験点	数の評価は 5:	90 ~100 A	点 4:75~	~89点 3	:60 ~	74.	点			
60 <sub>5</sub>	点未満	の場合は再試験	食を行う。 片	が、再試験	後の評価に	は試験規	租	昆による。			
〔使用	教科	書・教材等]	2級、3級	シャシ	去令教材	点検の	)手	三引き オ	マンダSE3級テキスト		
											Т
		T		授	業計画	<b>重</b> 表					No. 1
STEP						受業内容	£ (1	項目)			
1		授業導入 単元									
		車両法 第1章			<b>恒行規則の</b>	別表,	气杉	<b>食基準</b>			
		タイヤ・ホイーバ									
		計算 圧力計算	車重計算	算 ————							
	1	単元確認									
2	1	法令·計算 過									
			務に必要								
		環境とリサイクバ									
		油脂·材料 消					車	材料			
	1	差動制限型デ	ィファレンシ	/ヤル 機能	能•構造•徭	<b>空割</b>					
	1	前期まとめ 前	期授業の約	総まとめ							

教科		学科 自動車整備	帯に	科目		自動車法規	見		対象級	専門課程自動車整	備科	作成月日	25/04/01
		関する法		1111			, u		71, 2012	2年	VIII I I	開講期	前期
教科担当	4	別紙参照											
実務経験	教員	授業 非該	铛	総時限	13時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験	単元·期末試験		取組加減
〔授業概	要•	目的〕											
車両法を	保	安基準を単	元毎	に振り分り	ナ、詳しく角	解説を行う	事で、	国家	2級試験に	こつなげる	)		
〔授業目標	票]												
道路運送	車	両法、道路:	運送	車両の保	安基準を	学ぶことを	通じて		級自動車	整備士とし	ての知識	を習得し	
正しい法	規	つ運用能力	、判划	断基準を身	アに付ける								
E系9時刚	艮、	C系3時限を	と担当	当し、法規	の理解度	を深める							
〔学習評值	面の	基準]											
各試験	点数	枚の評価は	5:9	00~100点	₹ 4:75~	~ 89点 3	:60 ~	74	点				
60点未	満	の場合は再	試験	を行う。尚	j、再試験	後の評価に	は試験	規程	とによる。				
〔使用教和	計書	· 教材等〕	Ý	法令教材	点検の	手引き							
					授	業計画	画 表						No. 1
STEP標準時	寺限					ŧ	受業内	容(耳	頁目)				
2	3	道路運送車	正両法	怯 第1章~	~第5章	総則 自動	車のを	登録	等 道路追	<b>運送車両の</b>	点検、整体	備	
	3	第6章 自動	動車の	の整備事業	<b>K</b> 保安	基準							
	3	保安基準	原動	機及び動	力伝達装	置車枠及	及び車	体	乗降口、非		音防止装	置等	
	3	保安基準	前照	灯、車幅点	丁、番号灯	丁、尾灯	<b>後部</b> 反	射器	、方向指	示器 警音	器、速度	計、最大積	責載量等
	1	単元確認											
	1												

	教科		実習	科目	エン	ジン系応用	構造	対象級	専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01
	软件	自動車	重整備作業	17 p	(実習)			<i>刘 </i>	2年	開講期	<u>前期</u>
	教科担当	別紙参	照					-			
実務経験教員		授業	非該当	総時限	59時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 単元·期末試験	レポート評価	取組加減
ı	21 4 2010 1004 - 4 1 1 2 2										

### 〔授業概要•目的〕

ガソリンエンジンの分解・組立整備を通じて、構造・作動の理解と、各部の点検測定や調整が出来るようになること

整備現場で実践できる知識及び技術習得を目的とする。

#### 〔授業の到達目標〕

STEP1:二級ガソリン自動車教科書のエンジン・電装領域をベースに、分解、点検、組立技能、構造、作動、名称、役割の習得。

STEP2:実車のエンジン整備やトレーニングボードを活用して、分解、点検、組立技能、構造、作動、名称、役割の習得。及び外部診断機

(HDS)の活用方法を習得

### [学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~ 89点 3:60~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

#### [使用教科書・教材等]

エンジン部品、エンジン単体、完成車

		授 業 計 画 表	No. 1										
STEP	標準時限	授業内容(項目)											
1	2	ENG実践整備 I (オイル交換)											
	2	過給機単体の構造・機能											
	4	07A吸排気装置&ラッシュアジャスタの構造・機能											
	2	LPG燃料装置の構造・機能	PG燃料装置の構造・機能										
	2	ロータリ・エンジンの構造・機能											
	4	√型6気筒エンジンの分解・組み立て及び構造・機能											
	2	エンジン総合復習											
	2	始動装置の点検											
	4	充電装置の点検											
	2	点火装置の点検											
	2	オシロスコープの使用方法											
	2	HDS(I)の基本操作											
	4	実車 始動・充電装置の脱着											
	2	エンジン電装総合復習											
	1	単元実習確認											

2	4	ENG実践整備Ⅱ(バルブクリアランス調整)
	4	単体エンジンのメタル勘合
	6	VTECの構造・機能
	2	エンジン総合復習
	2	外部診断器の基本操作
	4	電子制御装置の構造・機能

教科	実習 自動車整備作業				シャシ系応用構造			専門課程 自動車整備科		作成月日	25/04/01
秋什			11 11	マイン 氷心が11年旦			対象級	2年		開講期	前期
教科担当	別表参照										
実務経験教員	授業	非該当	総時限	59時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	単元·期末試験	レポート評価	取組加減

#### |〔授業概要・目的〕

シャシ系の構造、機能、整備について実習することで、二級ガソリン、ジーゼル自動車整備士国家試験(登録試験)のシャシ部門において合格できるレベルの知識習得を目的とする。

安全作業、測定器具の取り扱い、分解方法を習得する。

### 〔授業の到達目標〕

AT、MT、CVT、油圧PS、アライメント、ブレーキ、サスペンション、構造、脱着、分解、組付、測定を理解習得する。

12ヶ月点検項目に対し点検方法、良否判断手法を学ぶ。

各測定に対し、適正な器具選び及び測定箇所にて正確な読み取り方を学ぶ。

### [学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの 各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

### [使用教科書‧教材等]

二級自動車シャシ、三級自動車シャシ、点検の手引き

		授 業 計 画 表	No. 1								
STEP	標準時限	授業内容(項目)	·								
1	4	実車を用いて測定部位に関して測定方法を学ぶ									
	4	CVTの動力伝達、構造、作動を学ぶ									
	4	ックピニオン型のコントロールバルブの作動を学ぶ									
	2	MT実車を使用し取付部位および油圧伝達順を学ぶ									
	2	ターニングラジアスゲージを使用し測定方法を学ぶ									
	2	キャリパー、ドラム、マスターシリンダの分解、組付けを学ぶ									
	4	安全作業についてと12ヶ月点検作業内容を学ぶ									
	2	ブレーキパッド、シューブレーキ脱着を学ぶ									
	4	一軸ATの動力伝達(1速~4速、リバース)を学ぶ									
	2	比重測定、比重からの起電力計算と放電容量の関係を学ぶ									
	2	フューエルポンプの脱着をして、センダユニットの点検法を学ぶ									
	2	実車での脱着を行いSRSエアバッグの機能構造を学ぶ									
	2	灯火装置の回路と診断方法を学ぶ									
	1	実習確認									

2	2	ドラムインディスクブレーキ(単品)分解、組付け
	2	コイルスプリングの脱着 サイドスリップテスターを使用しタイロッドにて調整
	6	記録簿記載時の記入欄の説明各点検項目の点検方法、調整方法を学ぶ。
	2	トルクコンバーターの構成部品について学ぶ。
	2	AT油圧制御(1速~4速、リバース)の伝達について学ぶ。
	2	三軸AT油圧制御、構造作動を学ぶ。
	2	単元復習(ステップ2の見直し)
	2	冷媒確認用モデルを使用し冷媒サイクルを学ぶ
	2	単品のEPSを分解し、構造作動を学ぶ

教	科		実習	科目		表自動車整 (4) ***		対象級	専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01
	' '	目動車	重整備作業	1111		(企業実習)	)	71, 201/20	2年	開講期	<u>後期</u>
教科	担当	別紙参	津照								
実務網	圣験教員	<b></b> 授業	該当	総時限	28時限	授業方法	実習·実技	評価方法		レポート評価	取組加減
・自動車	整備士	として実産	<b>务経験のある</b> 教	<b></b> 数員が、整備現	見場で必要なな	作業方法·知託	- 、実 、ま	<b>ミ務経験を活</b> か	いしてより実践的内容を指	- 3導し授業を行	<u></u> آه
〔授業	概要•	目的〕									
体験領	尾習を	通じて	、お客様社	見点に立っ	た行動を	直接学ぶ	ことで、自分	分自身のえ	人社後のありたき爹	そを考えイス	ページ
できるようにする。併せて内定先で働くことへの期待とモチベーションの高揚を図る。											
[授業の到達目標]											
・販売	店の1	日の流	れ、時間	意識を身に	こ付ける。	・お客様	(接客)を	実践的に体	▶験する。		
・販売店の受付から出荷までの作業を実施体験する。・実践に基づく点検整備、一般整備を体験する。											
〔学習評価の基準〕											
挨拶・身だしなみ・取り組み姿勢・積極性・お客様意識・整備実践力など5段階で評価											
毎日のレポート提出による評価											
〔使用	教科言	書・教材	 才等〕								
					授	業 計 画	表				No. 1
STEP	標準時限						受業内容(コ	項目)			
		◎企業	 業からの派		び実務経	 験のある耄	女員による	指導を中心	いに各項目を実施	する	
	12	エンジ	<sup>シ</sup> ン整備・-	一般作業・	まごころ点	(検					
	12	車検・	点検整備	•洗車(販	売店の受	付から出荷	うまでを模	凝体験)			
学	4	片付に	ナ・清掃の	実施(お客	様意識の	)向上)					
内											
実習											

				汉 未	मा स्य		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
教科		実習	科目	白番	か車検査(実	₹翌)	対象級	専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01		
秋竹		自動車検査作業	71 11	L B	141天正(ラ	<b>S H</b> /	<b>八</b>	2年	開講期	<u>前期</u>		
教科担当	当 5	別紙参照										
実務経験	教員	授業 該当	総時限	32時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 単元·期末試験	レポート評価	取組加減		
•自動車整備	#士と	して実務経験のある	数員が、整備理	見場で必要な	作業方法・知語	戦について、 須	<b>実務経験を活</b> 力	いしてより実践的内容を指導	し授業を行う。			
〔授業概	要•	目的〕 自動車	亘の法令を	実車を使	用し理解す	ける						
また、エン	ノジ	ン・シャシ系の内	内容から始	動・ブレー	・キの点検	、測定、良	.否判定が	出来るようになること	を目的とす	る。		
〔授業の3	到達	目標〕										
実車を使	用し	、保安基準を理	里解する									
車検証を	理角	解し、整備士とし	て正しい	知識を身に	こつけ部品	の取り付け	ナ場所を理	目解する				
始動装置	配、フ	レーキ部品の	分解組みる	立てや、測	定、良否料	判定ができ	るようにな	ること				
検査機器	子の何	吏用方法と、保証	安基準値の	の理解								
別表を使用した、点検整備をし、車検証、別表を正しく理解すると共に、記入ができること												
車載診断	車載診断機が使用できる											
タイヤチェ	タイヤチェンジャーが安全に使用できる											
〔学習評位	価の	基準〕										
各試験点	数の	基準、レポート評	価及授業(	の取り組みを	を総合して、	5.4.3.2	・1」の5段隊	皆で表わす。				
5:特に原	<b>戊績</b>	優秀なもの 4:成	<b>え続良のもの</b>	3:成績	普通のもの	2:成績	やや劣るもの	り 1:成績特に劣り、不	合格のもの	)		
各試験点	数の	評価は 5:90 ~10	00点 4:75~	~ 89点 3:6	60 ~ 74点 6	0点未満の場	場合は再試験	を行う。尚、再試験後の	評価は試験規	見程による。		
〔使用教	科書	*•教材等〕 実	習車両	車検証	サーキッ	トテスタ	パーツリン	スト				
2級、	3級	シャシ 法令教	数材 自!	動車整備	工具•機器	点検の	)手引き	自動車と環境問題				
(2輪コー	・スて	では、実習内容は	こより2輪を	を使用)								
STEP標準	時限					受業内容(	項目)					
1	2	車検証 車検証	及び自動	車記録事	項証明書	の理解						
	2 ,	点検①エンジン	12カ月	点検								
	2 ,	点検②下回り(月	足回り) 1	2カ月点椅	È							
	4 1	呆安基準 実車	を使用した	た保安基準	単の確認							
	2 2	タイヤ タイヤ交	·换									
	2 1	単品ブレーキ分	解•組立	単品のド	ラムブレー	キの分解						
	2	単品授業の見直	IL									
2	2	黒煙テスタ・オノ	ペシメータ	黒煙テス	タ及びオノ	ペシメータ	の測定方法	去•保安基準				
	2	CO・HCテスタ	音量計(	CO/HCテ	スタ及び音	量計の測	定方法•伊	<b>R</b> 安基準				
	2	ヘッドライトテスタ	タ ヘッドラ	ライトテスタ	の測定方	法•保安基	と 準を 理解					
	2	マルチテスター	(kgf) サイ	ドスリップ・	・制動力・ス	スピード試	験の方法を	を理解				
	4	12ヶ月点検(1年	手) 点検	記録簿を基	基に点検実	施						
	2	12ヵ月点検 点	検時に使	用する車	載診断機は	こよる診断						
		_										

2 e-ディーラー HONDAの販売店の仕組みを理解し、見積書を作成

教科	   実習   自動車整備作業		科目	ジー	ーゼル自動	車	対象級	専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01
4文/十	自動車	重整備作業	11 11	(実習)			2年	開講期	<u>後期</u>	
教科担当	<b>分</b> 別紙参照									
実務経験教員	授業	非該当	総時限	28時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 単元·期末試験	レポート評価	取組加減
- 1 - 111 - 1								-		

### 〔授業概要・目的〕

### [授業の到達目標]

STEP1: 二級ジーゼル自動車エンジン編教科書をベースに、分解、点検、組立技能、構造、作動、名称、役割の習得。

STEP2:二級ジーゼル自動車エンジン編教科書をベースに、分解、点検、組立技能、構造、作動、名称、役割の習得。

### [学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

### [使用教科書・教材等]

エンジン部品、エンジン単体、完成車

		授業計画表												
STEP	標準時限	授業内容(項目)												
1	6	コモンレール式燃料噴射装置の構造・機能												
	2	予熱装置の構造・機能												
	8	ENG実践整備Ⅲ(補器ベルト交換作業)												
	2	冷却装置の構造・機能												
	2	単元総合復習												
2	4	ジーゼルエンジンの吸排気装置の構造・機能												
	4	可変シリンダ・システム(VCM)の構造・機能												

実務経験教員 自動車整備士と 〔授業概要・	日的〕		28時限	原因探求( 授業方法 作業方法·知識	実習•実技		自動車整備科 2年 実習試験 単元·期末試験	開講期	<u>後期</u>
実務経験教員 自動車整備士と 〔授業概要・	通授業 該当 として実務経験のある。 目的〕 障診断における	数員が、整備 理					実習試験 単元・期末試験	レポート評価	
自動車整備士と	日的〕	数員が、整備 理					実習試験 単元·期末試験	レポート評価	
〔授業概要・	目的〕		見場で必要な付	作業方法•知語	************************************				取組加減
	障診断における	診断手法。				務経験を估力	してより実践的内容を指導	し授業を行う。	
継械系の故		診断手法。							
MIM / N V PA			ヒ対応手法	去を理解習	得実践す	る。			
電子制御系	統の診断手法の	基本を理	解習得す	る。					
〔授業の到遺	· 全目標〕								
1)HDSの	基礎的な作業が	できること。	,テスター	ーを使用し	て各電気	装置の単品	品ボードで故障探求	ができるこ	と。
2)HV車の	HVシステム簡易	易点検が多	全にでき	ること。					
3) 実車を使	5用して電子制御	『系やエア	コンの故障	章診断がて	<b>ごきること。</b>				
〔学習評価の	り基準〕								
各試験点数	の基準、レポー	~評価及授	業の取り	組みを総合	うして、「5・	4.3.2.1	」の5段階で表わす。		
5:特に成績	優秀なもの 4:	成績良のも	っの 3:成	績普通の	もの 2:成	:績やや劣	るもの 1:成績特に	劣り、不合	格のもの
各試験点数	数の評価は 5:9	90 ~100 Å	ā 4:75 ∼	~89点 3	:60 ~ 74,	点			
	6	0点未満の	)場合は再	試験を行	う。尚、再詞	試験後の記	平価は試験規程によ	る。	
レポートの	評価は 5:非常	に優れてい	ハる 4:優	をれている	3:普 通	2:やや	ッ劣る 1:劣る(再提	出の必要な	ぶある)
[使用教科書	書・教材等〕								
低圧電気取	り扱いテキスト、	ホンダSE3	3級ハード	偏、デジタ	ルテスター	-、HDS-	一式、オシロスコープ	、絶縁工具	等

		授 業 計 画 表	No. 1									
STEP	標準時限	授業内容(項目)	授業内容(項目)									
1	2	低圧電気取り扱い講習 HV車①										
	2	低圧電気取り扱い講習 HV車②										
	2	始動装置の故障探求										
	2	エアコンの故障探求										
	4	点火装置の故障探求										
	4	充電装置の故障探求										
	4	PGM-FI										
	2	始動装置の故障探求										
	2	エアコンディショナ										
	4	HDS										

					授 業	計 画	ゴ(シ ラ	バス	)		
教	科		実習 「整備作業	科目	総合自	目動車整備	シャシ	対象級	専門課程 自動車整備科 2年	作成月日 開講期	25/04/01 後期
 教科	担当	別表参	<u></u> :照						<u> - '</u>	,,,	
実務組	圣験教員	■ 員授業	該当	総時限	28時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 単元·期末試験	レポート評価	———— 取組加減
・自動車	整備士	 として実務	<b>経験のある</b>	数員が、整備5	見場で必要な	 作業方法・知	識について、気	▲ 実務経験を活	▲ かしてより実践的内容を指導	算し授業を行う。	
 〔授業	概要•	目的〕									
シャシ	系の構	造、機能	能、整備に	ついて実習	することで	、二級ガソ	リン、ジーセ	ジル自動車	整備士国家試験(登録	禄試験)の	
シャシ	部門に	おいて	合格できる	レベルの失	職習得を	目的とする。	)				
安全任	乍業、活	則定器	具の取り打	及い、油圧	測定、分類	解方法を習	習得する。				
〔授業	の到達	全目標〕									
AT,	油圧P	S、アラ	イメント、	クラッチ、フ	ブレーキ、	サスペンシ	ョン、の脱	着、分解	、測定を理解習得す	る	
12ケリ	月点検	、車検	項目に対	し良否判別	折および雪	を備が出来	る様になる	3			
〔学習	評価の	の基準〕									
各試勵	険点数	の基準	[、レポー]	評価及授	業の取り	組みを総合	むて、「5	·4·3·2·1	」の5段階で表わす。		
5:紫	がに成績	漬優秀	なもの 4	:成績良の	もの 3:成	<b>は績普通の</b>	もの 2:	成績やや	劣るもの 1:成績特別	に劣り、不合	含格のもの
各討	験点	数の評	価は 5:9	90~100点	ā 4:75 ~	~89点 3	$:60 \sim 74$	点			
			6	0点未満の	場合は再	F試験を行	う。尚、再	試験後の	評価は試験規程によ	る。	
〔使用	教科書	書・教材	[等]								
二級目	自動車	シャシ	、三級自動	動車シャシ	、点検の	手引き					
					授	業計画	画 表				No. 1
STEP	標準時限						授業内容(	(項目)			
1	4	·三軸	ATの伝達	効率、機同	能、構造が	ら故障原	因、対処治	去を学ぶ			
	4	・パワー	ーステアリ	ング(実車	)の脱着						

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	4	・三軸ATの伝達効率、機能、構造から故障原因、対処法を学ぶ	
	4	・パワーステアリング(実車)の脱着	
	2	・HDSの取り扱い・カスタマイズ項目の確認、作動の確認	
	2	・ホンダマルチマチックの分解、組付けを学ぶ	
	4	・ダブルウィッシュボーンのスプリング交換要領を学ぶ。	
	4	・MT不具合箇所の測定による良否判断、故障診断を学ぶ。	
2	4	・車検整備受付から引き渡しまでの流れを学ぶ	
	4	・車両へAT油圧ゲージを取付け測定方法を学ぶ	

	製科 実習 科 自動車検査作業 科			総総	合自動車整	 Median	対象級	専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01				
		日期単使盆作弟	<u> </u>		検査 			2年	開講期	後期				
教科	担当	別紙参照					1							
実務経	E験教員	<b>授業</b> 該当	総時限	28時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 単元·期末試験	レポート評価	取組加減				
・自動車	整備士	して実務経験のある	る教員が、整備理	見場で必要なり	作業方法•知識	はについて、実	<b>ミ務経験を活た</b>	いしてより実践的内容を指導	し授業を行う。					
〔授業	概要•	目的〕												
自動車	重の法	令を実車を使	用し理解する	ると共に、	シャシの内	容から大	型のエアー	-関係の装置を理解	する					
また、]	HON	DA SE3級の	内容として	保証制度	、AWDに	ついても理	異解する							
〔授業	の到記	を目標]												
実車を	使用	し、保安基準を	理解する											
単品音	『品を	使用し、大型コ	ニアーブレー	・キ、エア・	ーサスペン	ションを理	解する							
補助フ	ブレー	キ、差動制限型	型ディファレン	ンシャルを	理解する									
検査機	機器の	使用方法と、例	R安基準値、	良否判定	の理解									
マルチ	マルチテスタ(N)を使用し制動力、サイドスリップ、スピードメータテスタを理解する													
HON	HONDAの販売店システムの理解 HONDAのAWDシステムの理解													
〔学習	評価の	)基準]												
各試験	点数の	の基準、レポート	評価及授業の	の取り組み	を総合して、	5.4.3.	2・1」の5段	階で表わす。						
5:特	に成績	優秀なもの 4	成績良のもの	ひ 3:成績	普通のもの	2:成績	やや劣るも	の 1:成績特に劣り、	不合格のも	<i>O</i>				
各試	験点数	の評価は 5:9	0~100点 4	$4:75 \sim 89$	点 3:60~	~ 74点								
		60	点未満の場	合は再試験	食を行う。尚、	、再試験後	の評価は記	式験規程による。						
レポー	一トの言	平価は 5:非常	に優れている	4:優れて	ている 3:普	通 2:	やや劣る	1:劣る(再提出の必要	[がある)					
〔使用	教科	書·教材等〕	実習車両	車検証	サーキッ	トテスタ	パーツリ	スト						
2級	及、3級	シャシ 法令	教材 自!	動車整備	工具·機器	点検の	手引き	自動車と環境問題						
				授	業計画	表				No. 1				
STEP	標準時限				担	受業内容(	項目)							
1	2	12ヵ月点検 1	2カ月点検	が実施でき	き、記録簿は	の記入が	出来る							
	2	テスタ総合 権	食査機器が使	吏用でき、	基準値を基	基に良否判	判定が出来	<b>E</b> る						
	2	補助ブレーキ												
	2	制動力(N)												
	4	大型コンプレ	ッサ、ブレー	キ、サスペ	ペンション									
	2	大型ブレーキ												
	2	エアサス、イン	タアクスル											
	2	単品のブレー	キの分解組	付け										
	2	eーディーラ												
	4	24ヶ月点検(	車検)+ 保	:証制度										
	2	DPS												
	2	4WD												

教科	-	一般	科目		安全運転学	,		対象級	専門課程 自動車整備科		25/04/01				
									2年	開講期	<u>後期</u>				
教科担当	別表参	<b>≩照</b>						1	T						
実務経験教	員授業	非該当	総時限	2時限	授業方法	講	義	評価方法							
〔授業概要	•目的〕														
•交通安全	に対す	る意識向」	上と知識の	習得を行	い、事故遺	<b>反件</b>	数を	削減する	0						
	授業の到達目標〕														
[授業の到	授業の到達目標〕 運転責任者の認識、マナーマインドと運転の危険予測のスキルアップを図る。														
運転責任者の認識、マナーマインドと運転の危険予測のスキルアップを図る。															
ホンダ学園生として車業界に携わるものとしての安全への取り組み、															
事故違反に対する厳しさについて理解する。 長期連休前に行いさらなる安全意識の強化を図る。															
長期連休	前に行い	ハさらなる	安全意識の	の強化を	図る。										
〔学習評価	学習評価の基準〕														
・評価しない	評価しない														
〔使用教科	書•教林	才等〕													
•安全運転	に関す	る動画、整	を備不良に	関する資	· 料										
					業計画	表					No. 1				
STEP 標準時限						受業内	7容(	(項目)							
	<後期	期>													
1 1	冬休る	み前の安全													
1 1			業前の)安	全運転等	 学										

教	科	_	一般	科目		安全運転等	全		対象級	専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01
										2年	開講期	前期
教科		別表参		<u> </u>		1			1	T		
	圣験教員		非該当	総時限	6時限	授業方法	講	義	評価方法			
	概要•											
・交通	安全に	こ対する	る意識向	上と知識の	習得を行	テい、事故 <b>達</b>	建反件	‡数を	が削減する	0		
		達目標.										
						<b>危険予測の</b>				0		
						の安全への	)取り	組み	`			
				こついて理								
				安全意識の	の強化を  	図る。 <del></del>						
		)基準	]									
•評価	しない	١										
		틀・教材										
•安全	運転	こ関する	る動画、虫	を備不良に								T
-					授	業計画	画 表	-				No. 1
STEP	標準時限					:	授業区	内容(	(項目)			
		<前其	期>									
1	1	新2年	生としての	)安全意識	の向上を	と図る						
	1	GW連	休前の安	全運転学	の実施							
	1	所轄警	警察署より	安全運転	に関する	講習(黒山	警察	署より	))			
2	1	夏休み	み連休前の	の安全運転	云学の実施	<b>拖</b>						
	1			重転結果振	長り返り							
	1	秋季罗	安全運転等	学の実施								

教	科	_	一般	科目		接客実務			対象級	専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01		
数科:	<b>知</b>	別紙参り	BZ							2年	開講期	前期		
	□ョ ∑験教員	1	 該当	総時限	10時限	授業方法	講	兼	評価方法	学科試験 単元試験		取組加減		
						ļ				してより実践的内容を指導し授業	 業を行う。	以加工/加州		
			- INTERCORPE			1 70.73 122 70.119								
			容を理解	 で、接客の	 )知識を習	    得する								
		上 目標〕				14 / 0								
1年時	で履信	多したた	土事の基準	 本を復習し	、理解を消	深め身に付	ける							
仕事、	接遇の	の基本	、サービス	ス業務を理	解する									
サービ	`スの履	哥辺知	 識である、	お客様管	理、部品の	の基礎知識	t, CS	3活重	力、関連知	識を理解する				
フロン	卜業務	の理解	解を深める											
企業第	[習前	に社会	が求める	姿を認識さ	させ実践で	できるように	する							
〔学習	評価の	)基準]												
各試懸	食点数	の基準	の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。											
5:特局	こ成績	優秀な	優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの											
各試験	点数の	評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点 60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。												
〔使用	使用教科書·教材等〕													
ホンダ	sンダSE3級ソフト編													
						受業計	画	表				No. 1		
STEP	標準時限						授業	美内容	字(項目)					
2		接遇の												
			ごスの基本											
			ト業務の基											
			美務の基本											
		周辺知												
		総合復												
			実習説明)											
			実習報告:	<i>会)</i> ————										
	1	単元確	五节心											

							•				
麯	科		実習	科目		特別講座		対象級	専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01
<del>1</del> X	47	自動車	整備作業	77 11		11701時/王		<b>1</b> 1 3 √ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2年	開講期	<u>後期</u>
教科	担当	別紙参	照								
実務網	圣験教員	授業	非該当	総時限	60時限	授業方法	実習·講義	評価方法			
〔授業	概要•	目的〕						-			
就職急	<b></b> 走進路	グルー	プに分か	れ、国家記	試験合格は	こ向けた最	終実力養	成と即戦	力となりうる実践的ス	スキルの習得	寻、
向上を	を目指	し実力	養成を図	る							
〔授業	の到達	達目標)	]								
1)公詞	論社の	練習問	引題(2級オ	ゲソリン、2名	級ディーゼ	ジル)の理解	解度の向上	-0			
2)各词	進路別	コース	による、則	『戦力となる	る知識と技	で 術力を身に	につける。				
〔学習	評価の	)基準]	]								
評価し	ない										
〔使用	教科	<b>탈•</b> 教材	<b>才等</b> 〕								
2級ガ	ンリン、	2級シ	ヤシ、法令	<b>冷、基礎自</b>	動車工学	、基礎自動	加車整備、	材料、製図	図、計算のノウハウ、	、電卓	
					授	業計画	ī 表				No. 1
STEP	標準時限						受業内容(	項目)			•
2	36	各単テ	こ(エンジ:	/・電装・シ	/ャシ・検査	生)で、コー	ス別にて	総復習実施	<b></b>		
	24	各単元	亡(エンジ)	ン・電装・ジ	/ャシ・検査	至)で、コー	ス別授業	(営業・整	備·高度診断) 実施	Ī	

教科		学科 1車工学	科目	新機	线構·次世代	技術		対象級	専門課程 自動車整備科 2年	作成月日 開講期	25/04/01 後期	
 教科担当	別紙参	照							-			
実務経験教	員授業	非該当	総時限	8時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 期末試験		取組加減	
将来のモビ	リティー	-技術と社	会の変化に	こ対応する	る授業を提	供し、	技術	デ者として G	の幅を広げさせる。			
メーカー校	としての	特色、魅	力を発揮し	、他校競	争力を強化	とする	)					
〔授業の到	童目標]	]										
1)ホンダ製	品の技	術・知識を	と習得させ	整備サー	ビス応用力	(SE	3級.	以上レベル	レ)を身に付けさせる			
2)電気・制	御·情幸	最技術サオ	ポート等の打	支術を習行	得させ応用	整備	サー	ビス力を向	]上させる			
3)社会の変	5化で生	Eじている	様々な技術	<b>う等を学</b> に	ばせ、技術を	者とし	ての	幅を広げる	させる			
〔学習評価	の基準	)										
各試験点数	の基準	焦、レポー1	卜評価及授	業の取り	組みを総合	して、	[5•	4.3.2.1	」の5段階で表わす。			
5:特に成績	優秀な	さもの 4:,	成績良のも	の 3:成	え 積普通の	50	2:,	成績やや	劣るもの 1:成績特に	こ劣り、不合	合格のもの	
各試験点数	の評価	5:90	~100点	4:75 ~	89点 3:6	0 ~	74点					
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。												
レポートの記	平価は	5:非常に	こ優れてい	る 4:優々	れている 3	3:普	通	2:やや3	劣る 1:劣る(再提出	の必要があ	5る)	
〔使用教科	書・教材	才等]										
SE3テキ	スト・サ	ービス知識	哉テキスト・]	PPT資料	•							
				授	業計画	表					No. 1	
STEP 標準時限	-					授業	<b></b>	字(項目)				
			VTEC/VT		3,							
2	【電装	単元』AH	A、音と振動	動								
2	【シャ	ン単元】D	CT機構									
2	【検査	単元】新治	去令、特定	整備								
	1											

教科		実習	科目	新機構•次世代技術			対象級	専門課程 自動車整備科	作成月日	25/04/01
教件	自動車	重整備作業	17 0	利17交	件"沃巴八	נוע גבני	对象加	2年	開講期	<u>後期</u>
教科担当	当 別紙参照									
実務経験教員授業 非該当 総時限 34時限 授業方法 実習·実技 評価方法 実習試験 期末試験										
〔授業輝萬.	日的							=		

### 〔授業概要•目的〕

将来のモビリティー技術と社会の変化に対応する授業を提供し、技術者としての幅を広げさせる。

メーカー校としての特色、魅力を発揮し、他校競争力を強化する

#### [授業の到達目標]

- 1) ホンダ製品の技術・知識を習得させ整備サービス応用力(SE3級以上レベル)を身に付けさせる
- 2) 電気・制御・情報技術サポート等の技術を習得させ応用整備サービス力を向上させる
- 3) 社会の変化で生じている様々な技術等を学ばせ、技術者としての幅を広げさせる

### [学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

### [使用教科書・教材等]

車両・単品教材・SE3テキスト・サービスマニュアル・外部診断機

		授 業 計 画 表	No. 1									
STEP	標準時限	授業内容(項目)										
1	8	3【エンジン】										
		・ホンダセンシング ・i-HDS ・センサ類 ・VTCモータ										
	8	8【電装】										
		・製品技術・ホンダコネクト・電動サーボブレーキ・スマートキー・故障対応フィールドレポート										
	8	【シャシ】										
		・DCT分解組み立て										
	8	【検査】										
		・アライメントテスター ・エーミング										
	2	実習確認										